

令和 8 年 第 3 回 平 内 町 議 会 定 例 会

一 般 質 問 予 告 表

質問順位	議席番号	質 問 者	表 題
1	4	田 中 大	1 関係人口づくりについて
2	9	畑 井 勝 廣	1 町の将来像について
3	7	太 田 満 則	1 浜子地区の旧操車場跡地の環境整備について 2 農免道路の環境整備について
4	1 0	田 中 光 弘	1 公共交通の確保について 2 除雪対策について

一般質問の通告書

(一括 ・ 一問一答)

(受付No. /)

(発言順 /)

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	関係人口づくりについて	これからの時代は、「住民を増やす」という考え方だけではなく、「平内町に関わる人を増やす」という視点が極めて重要になると考えております。そこで重要になるのが、「関係人口」という考え方であります。「住んでいる人口」だけで地域を支える時代から、「地域に関わる人々と共に地域を支える時代」へ転換していかなければなりません。近年、関係人口づくりで成果を上げている自治体に共通しているのは、「ファン」を増やすのではなく、「地域づくりを一緒に担う仲間」を増やしている点であります。 ① 本町の「関係人口」の創出について、人口減少時代における地域づくりの観点からどのような認識を持ち、今後どのような方向性で取組んでいくお考えか、お伺いいたします。 ② 国が創設を進める「ふるさと住民登録制度」について、どのように受け止めておられるか。また、本町の関係人口の創出や地域づくりにどのように活用していくお考えか、お伺いいたします。 ③ 都市部企業や大学、専門人材等と連携し、地域課題の解決に取り組むプロジェクトを展開することは、新たな関係人口の創出や地域活性化につながるものと考えますが、その可能性及び今後の取組について、お伺いいたします。 ④ 関係人口施策を一過性のものとせず、継続的な成果につなげていくためには、庁内横断的な推進体制の構築、成果指標の設定、PDCA サイクルによる検証・改善に加え、「平内町関係人口創出戦略」の策定が重要と考えますが、その必要性についてどのようにお考えか、お伺いいたします。

会議規則第 6 1 条第 2 項により通告いたします。

令和 8 年 8 月 20 日

議席番号 4 番

氏 名 田 中 大

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿



9:18

一般質問の通告書

(一括 ・ 一問一答)

(受付No. 2)

(発言順 2)

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	町の将来像について	① 町長の 4 期目の公約の中には、ホタテ養殖に関する対策として、「ほたて対策調査推進監を設置する」といった趣旨の政策が掲げられていたと承知しております。ホタテ養殖に関するほたて対策調査推進監の設置について、その後どのような対応をされたのでしょうか。実際に設置されたのであれば、どのような役割を担い、どのような調査や対策を行い、どのような成果があったのでしょうか。また、現在のホタテ養殖業を取り巻く厳しい状況を踏まえ、町として今後どのような対策を講じていくお考えでしょうか。 ② 新庁舎建設について、町長は現在の財政状況と将来の財政負担をどのように認識しているのでしょうか。また、建設費だけではなく、完成後の維持管理費、修繕費、設備更新費などを含め、長期的な財政負担をどのように見込んでいるのでしょうか。そして、地盤の安全性について、町民が納得できる十分な説明を行う考えがあるのか、お聞きします。 ③ 大和山との観光・地域振興面での連携について、どのように考えているのか伺います。 ④ 大島の灯台までの遊歩道整備について、町としてこれまで検討したことがあるのでしょうか。また、県と協議しながら、実現可能性を調査する考えはないのでしょうか。 ⑤ 郷土資料館と高橋竹山資料の今後の活用について、どのように考えているのでしょうか。また、施設の移設や再配置を含め、抜本的に見直す考えはないのでしょうか。

会議規則第 6 1 条第 2 項により通告いたします。

令和 8 年 8 月 21 日

議席番号 9 番

氏 名 畑 井 勝 廣

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿

一般質問の通告書

《続き》

議席番号 9 番 氏名 畑 井 勝 廣

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨		⑥ 夜越山には、まだ大きな可能性があります。展望台からの眺望を再生することは、観光資源として大きな意味があると思います。また、スキー場斜面を、春は芝桜、夏は緑、秋は紅葉や花、冬は雪、このように、年間を通じて人が訪れる公園にすることはできないでしょうか。 ⑦ 夜越山森林公園のケビンハウスについては、比較的利用状況が良いと聞いております。もし需要があるのであれば、現在の 6 棟から、例えば年 1 棟程度を目安に増設し、将来的に 10 棟程度を目指すという考え方もあるのではないのでしょうか。もちろん、単純に建物を増やすのではなく、利用実績、維持管理費、収支、将来需要を十分に分析する必要があります。段階的な増設について検討する考えがあるのか、伺います。 ⑧ パークゴルフ場の現状をどのように評価しているのでしょうか。また、コースの増設による公式大会の誘致について検討する考えはあるのでしょうか。

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿



12:01

一般質問の通告書

(一括 ・ 一問一答)

(受付No. 3)

(発言順 3)

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	1, 浜子地区の旧操車 場跡地の環境整備 について	浜子地区の旧操車場跡地は、町が整備する予定で旧国鉄 から購入したと思っているが一向にその気配が無い。これ までの経緯とこの後の整備計画を知らせて欲しい。
	2, 農免道路の環境整 備について	夜越山森林公園から野辺地方面に向かう、通称農免道路 の整備について前にも質問した。同僚議員からも質問があ ったが改善されていない。事故が発生しないように道路脇 及び道路を覆う草木を早く取り除くべきだ。

会議規則第61条第2項により通告いたします。

令和 8 年 9 月 1 日

議席番号7番

氏 名 太 田 満 則

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿



9:22

一般質問の通告書

(一括 ・ 一問一答)

(受付No. 4)

(発言順 4)

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	1 公共交通の確保について	1 デマンド交通について ア デマンド交通の実証運行の評価。利用者数、利用回数、利用目的、地域別の利用状況、利用者から寄せられた意見などをどのように分析しているのか。 イ 利用者が限定的だった原因をどのように捉えているのか。 ウ 休止をもって事業の終了とするのではなく、実証運行で得られたデータや課題を、次の公共交通政策にどのように生かしていくのか。 2 デマンド交通休止後の移動手段について デマンド交通の休止後、現在の利用者の移動手段について、町は具体的にどのように対応するのか。新たな移動手段について、町としていつまでに方向性を決定する考えか。可能であれば令和 8 年度中に実証運行を開始する考えがあるのか。具体的なスケジュールについて考えを伺う。 3 交通不便地域について 交通弱者がどこにいて、どのような移動を必要としているのか等について分析を行っているのか。さらに、分析結果を今後の町民バスや新たな交通手段の運行計画に反映させる考えがあるのか。 4 スクールバスを活用した移動手段の確保について 令和 3 年度からの第 1 期平内町地域公共交通計画からスクールバスへの一般者の混乗と通学以外の時間帯の便の運行について運行事業者は、「車内の乗車率に余裕がある。また、乗務員は当日、スクールバス専属であるため余力のある時間帯がある」とし、令和 7 年度から実証運行を行う計画であった。実際に実証運行について審議してきたのか。可能性を検討してきたのか。 5 第 2 期平内町地域公共交通計画について 最終的にどのような公共交通体系を構築することを目指し、実現に向けて、今年度、具体的にどのような取り組みを進めるのか。

議規則第 61 条第 2 項により通告いたします。

令和 8 年 9 月 1 日

議席番号 10 番

氏 名 田中 光弘

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿

一般質問の通告書

《続き》

議席番号 10番 氏名 田中 光弘

	表 題	具 体 的 内 容
質 問 の 要 旨	2 除雪対策について	1 昨シーズンの除雪の検証について 令和7年度の冬期間の除雪で、どのような課題があったと認識しているか。町民から寄せられた除雪に関する要望・苦情の件数と、その主な内容について。 2 吹き溜まり対策について 降雪量が多くななくても、強風によって道路に吹き溜まりが発生し、通行に支障を来す場合がある。吹き溜まりが発生しやすい箇所を早期に把握し、除雪車を迅速に出動させる体制を構築しているのか。 3 除雪業者・オペレーターの確保と小型除雪車所有者による協力について ア 町管理道路の除雪業者及びオペレーターの確保状況と、今後の担い手確保について、町はどのように考えているのか。 イ 袋小路等などの除雪を小型除雪車所有者と連携することが必要であるとする。各町内会では既に実践している方がいる。今後、要請をすれば応えてくれる方もいると思われるので働きかけるべき。 4 (仮称) 間口除雪支援事業創設について 除雪車通過後に住宅の出入口へ寄せられる間口の硬雪は、一人暮らしの高齢者・高齢者のみ・障がい者世帯は自力で除雪することが難しく大きな負担である。現行のボランティアによる除雪体制は、除雪に取掛かるまでに一定の時間を要する。迅速に対応できる除雪体制の構築と事前登録方式に向けて、支援対象世帯をあらかじめ把握する考えはあるのか。 5 除雪情報の見える化 町ホームページやSNSなどを活用して、除雪状況を町民に分かりやすく情報提供する仕組みを導入すべき。

平内町議会議長 船 橋 健 人 殿



10:00